

## 2014 年年頭挨拶

明けましておめでとうございます。2014 年の新しい年を迎え、今年一年の皆様のご多幸とご健勝を心より祈念いたします。

設立時のごあいさつで、「環境という時代」、「環境への要請の拡大化・複雑化」「環境アセスメント士の重要性がどんどん高まっていること」を申し上げました。一方で、「環境重要性の高まりに反しアセス業務が減少するパラドックス現象」があり、「アセス制度の見直しや、新しい領域への拡大など、新たな役割を模索していく必要性」も申し上げました。「時代の変化は、知を広げるチャンス、未来を考えるチャンス、新しい仕事を生み出すチャンスである」と。また、「簡単な言葉で、あるいは一言で「アセス士って何」という問いに答えられる、そんな資格のあり方、また我々を作り上げていきたい」と。

EA 会の第一の目的は、こういう行動を起こしていくための、情報交換・連携の強化です。第二の目的は、自己研鑽・自己発展につなげること。第三の目的は対外活動の強化、アセス士のプレゼンスのアップです。

去年は、こうした目的が達成できる基礎をつくりはじめ、実装していく年として少しずつではありますが着実な活動ができたと思います。

総会と同時に横張教授をお招きしてのイベントを開催しました。ホームページは少しずつ進歩していますし、会員数も確実に増加しています。JEAS との意見交換も行い、EA 会の存在は着実に大きくなってきていると感じています。これもひとえに皆様のご努力のおかげです。ありがとうございました。

外部環境にあっては、環境省が創設したグリーンファイナンス制度や国土交通省が改定した CPD 評価の見直し等が私たちを後押ししてくれています。そのかいあってか、去年のアセス士の受験者数は、創設以来初めて増加に転じました。

この流れを止めないで行きましょう!!

今年来る 4 月に EA 会も 3 年度目を迎えます。午年にちなんだ馬にまつわることわざの一つに「馬には乗ってみよ、人には添うてみよ」というものがあります。何事も経験なくして本当のことはわからない、やりもしないで評価や批判をするものではない、という意味のことわざです。実践を重んじつつ確かな知識の習得に努めるべきということです。肝に銘じて今年も頑張っていきたいと思います。また皆様方にあっても同じ志をもってご協力・ご支援をしていただければと切に願います。

今後とも、会員の皆様を始め、JEAS や JSIA、関係省庁・自治体、他関係各位のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2014 年 1 月 7 日

環境アセスメント士会  
会長 和田 仁志